

令和2年1月20日

南の風 328

南部地区ミニバスケットボール連盟
会長 藤原 敬一

327号の続きです。

ピート・ニューエル氏は、《1960年ローマ五輪のアメリカ代表監督として金メダルを獲得、またレイカーズの代表を務めたほか、インストラクターとしてカリム・アブドゥル・ジャバー、ビル・ウォルトン、シャキール・オニールらを育てた。日本とも関わりが深く、1964年東京五輪当時から全日本のコーチとして何度も来日して指導した。1987年に勲四等瑞宝章を受章》大学の女子選手二人を連れて来日していました。

氏はいすゞの体育館に小型トラック用のタイヤを二列にして10個ほど並べて、二人の選手に何回も往復させました。股関節の可動域を広げるためと、体幹を鍛える目的でした。さらに現在では当たり前に行っているポストでのもらい方ですが、ワイドボディ、ボールタック、キャッチフェイク、ステップワークを細かく指導していました。本場の技術指導を目の当たりにして、驚きと感動の瞬間でした。書籍としては、『ウイニングバスケットボール』が有名です。笠原先生が監訳しています。

他の3氏の書籍、ビデオです。

ジョン・ウッデン氏《UCLA 大の名コーチ、NCAA で1967～1973の12シーズン（年2回）のトーナメントで10回の優勝（含7連覇）ホームコートでは98連勝》の『成功のピラミッド』は現在もバスケットボールコーチのバイブル的考え方です。書籍として、『育てる技術』、『UCLA バスケットボール』はコーチングの考え方として参考になりました。

アドルフ・ラップ氏《ケンタッキー大でNCAA4度の優勝》のディフェンスファンダメンタル7原則は、現在でもディフェンスの中核をなしています。

マイク・シャシェフスキー氏《デューク大で5度のNCAA 優勝に導く。2008年の北京五輪ではアメリカ代表のヘッドコーチとして、金メダル。続く2010年の世界選手権でもアメリカを16年ぶりの世界一に導く。さらに2012年のロンドン五輪では、オリンピック2連覇。2014年世界選手権も2連覇。そして2016年のリオデジャネイロ五輪でオリンピック3連覇を果たした。》については書籍もさることながら、私はビデオの『デューク大モーションオフense』が分かり易く、たいへん参考になりました。（解説が英語だったのですが、映像を観ながら勉強させてもらいました。）

余談になりますが、マイク・シャシェフスキー氏のシャシェフスキーの発音は英語にすると難しいということで、『コーチK』と呼ばれています。コーチKの言葉として、『厳しい試合を経験するたびに、チームは一つになる。お互いがお互いを必要であることがわかるから』と、『リーダーはチームに起こったことすべてを、肯定的に考えていく必要がある』は、私自身いつも大切にしている金言です。

現在バスケットボールの指導法や練習方法は、各カテゴリーでコーチの数ほどあります。私は「古いものはダメ、新しいものが絶対」とは考えません。327号～328号で紹介したものだけでなく、先達の価値ある名言や指導法には、現在のバスケットボール界において、綺羅星のごとく燦然と輝く教えがたくさんあるのですから。